

社協支部アンケート集計表

対象者	調査時期	配布・回収方法	通知数	回収数	回収率
市内社協支部	令和3年12月	郵送による発送・回収	47通	46通	97.8%

問1 地域や生活の困りごとについて、耳にすることはどのようなことですか。(あてはまるものすべてに)

	回答	割合
こども、子育てに関すること	14	11%
障がいに関すること(身体・知的・精神等)	9	7%
高齢、介護に関すること(認知症・見守り等)	37	28%
人権、家庭内暴力に関すること	4	3%
健康、医療に関すること	24	18%
就労、経済的な事項に関すること	6	5%
防災、防犯、交通安全に関すること	25	19%
福祉に関する情報提供に関すること	7	5%
その他 (中国人とのトラブル、あまり耳にしたことが無い、乗り物の不便)	3	2%
無回答	4	3%

問2 あなたは日常生活の中で起こる問題に対して、どのような方法で解決するのが良いと思いますか。(1つに)

	回答	割合
自分たちの生活に関わることだから、できるだけ住民同士で協力して解決したい	9	18%
地域のことに熱心な人たちが考えてくれるので、その人たちに任せておきたい	0	0%
住民と行政の協働で解決したい	32	64%
行政に解決してもらえるように要求したい	7	14%
その他 (1と3と4をミックスさせるのが理想的だと思います。)	1	2%
無回答	1	2%

問3 あなたは、いわゆる「8050 問題」など、一つの相談支援機関だけでは解決できない人や制度の狭間にある人を支援につなげるためには、どのような仕組みづくりが必要だと思いますか（○は3つまで）

	回答	割合
地域コミュニティの育成と支援	14	11%
どのような相談もまるごと受け止める体制の整備	9	7%
支援を必要としている人の早期把握	27	22%
福祉に関する相談窓口の周知	23	19%
相談支援機関と地域住民、地域の関係者（民生委員や児童委員等）との連携	34	28%
多様な活動団体、ボランティア等が協働で支援する仕組み	5	4%
相談支援機関や地域福祉活動の担い手を対象とした研修会の開催	6	5%
その他 （まず当事者の方の話しを丸ごと聞くことができれば ~ へつなげられるとっかかりだと思います、行政が強いリーダーシップを発揮しないと解釈は無理）	3	2%
無回答	1	1%

問4 お住いの地域で、日常生活を送るうえで心配な方や、困っている方がいたら、支部としてできることは何ですか。（あてはまるものすべてに ）

	回答	割合
見守りや声かけ	42	36%
話し相手	17	15%
日常生活上の手伝い （電球の交換、買い物、ゴミ出し、通院等）	6	5%
草取りや庭の掃除	4	3%
食事作りやおすそわけ	2	2%
学校や保育園、通所施設の送り迎え	1	1%
短時間の子どもの預かり	3	3%
災害など緊急時の手助け（安否確認、避難所への誘導など）	36	31%
その他 （近くに相当する方が居ないが、自分にできる範囲で手助けしたい。）	2	2%
特になし	2	2%
無回答	1	1%

問5 あなたは、子どもからお年寄りまで、誰もが住みやすいまちづくりを推進していくにあたり、行政や社会福祉協議会ではどのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。(〇は3つまで)

	回答	割合
福祉に対する意識の向上	12	9%
情報発信の工夫	11	8%
地域福祉活動の担い手の確保	15	11%
顔の見える関係づくり	10	8%
地域福祉活動の支援	15	11%
地域の様々な活動主体のネットワークづくり	7	5%
困りごとを抱えた人が適切な支援につながる体制づくり	25	19%
誰もが安心できる環境の充実	12	9%
地域の防災力の強化	9	7%
権利擁護の推進	1	1%
地域生活課題の複合化・複雑化への対応	4	3%
社会的孤立、制度の狭間の問題への対応	11	8%
無回答	1	1%

問6 近所での助け合いの仕組みづくりについてどう思いますか。

例：サロン活動、見守り活動等

	回答	割合
必要であると思う	40	85%
必要かどうかわからない	6	13%
必要とは思わない	0	0%
無回答	1	2%

問7 問7で「1. 必要であると思う」と回答した方のみお答えください。

今後、仕組みづくりに参加したいと思いませんか。

	回答	割合
積極的に参加したい	10	24%
声掛けがあれば参加したい	21	51%
参加したいが難しい	8	20%
参加できない	0	0%
無回答	2	5%

問8 地域福祉推進について、ご意見、要望等、ご自由にお書きください。

- ・個人情報の件があり、どこまでが適切か分からない。
- ・情報の共有を進める。声かけ、挨拶の推進（例えば、回覧板を回すとき、ポストに入れるだけでなく、声をかけて話をする。又、ゴミ捨てのとき、挨拶を交わして話をする。）
- ・時節に沿った課題について講座等を聞くことを積極的に行う社協が会員（町会）に知らせる努力をし、会員（町会）も知る努力をすることが大切です。
- ・社協や包括センターなどパンフレットでは見るが、どのような活動、支援を行っているか、市民の人がよくわかっていないと思うので、町会の理事会や会合に出てもらい、どのような活動をしているのか話を聞かせて欲しい。
- ・住民同士の相互理解、つながりが希薄にならないよう方策を打っていくようお願いします。
- ・高齢か一人暮らしの方は気にかけていが、普段から興味を持って参加していないと中々声をかけにくい。コロナ禍で集まる機会も少ない今・・・。コロナの終息を願い、その先を多勢で楽しみたいです。
- ・リーダーとなる方が年々少なくなり、ボランティア活動をまじめに進めてゆく事は、共通の心がけを持つ人たちが必然。しかし現状はリーダーになった方の多方面の兼務が負担となってゆく事が問題点だと思えます。又携わる方も仕事をしながらの方も今後増えるので、ひとくりに出来ない現状を行政がどうフォローしてゆくか明確さが欲しい。
- ・見守りが必要な方の情報がほしいと思えます。
- ・現在はコロナの為、多数では集まるのが厳しい状況です。様々な行事に地域の方が多数足を運んでくれるようにするための工夫が難しいです。
- ・今回のアンケート内容については、現在の意識の強さの中では解決できないことが多い。ボランティアに頼るのではなく、本質を見て、課題解決策を検討すべき。
- ・コロナ禍での地域福祉推進の取り組みでご苦労様です。今後もよろしくお願いいたします。

問9 支部活動を行った感想を教えてください。

	回答	割合
良い	4	9%
おおむね良い	37	79%
あまり良くない	3	6%
悪い	0	0%
無回答	3	6%

問10 支部活動を行って具体的な効果はありましたか。

	回答	割合
あった	4	9%
おおむねあった	30	64%
あまりなかった	9	19%
なかった	0	0%
無回答	4	9%

問11 問10で「1.あった」、「2.おおむねあった」と回答した方のみお答えください。具体的にどのような効果がありましたか。(あてはまるものすべてに)

	回答	割合
町会（自治会）加入世帯が増えた	5	5%
老人会や子ども会等への参加が増えた	8	9%
町会（自治会）行事への参加者が増えた	11	12%
社協会費や募金等への理解が得られやすくなった	8	9%
助け合い等の雰囲気が増えた	7	7%
町会（自治会）と老人会や子ども会とのつながりが強くなった	15	16%
参加者同士があいさつや立ち話をするようになった	17	18%
参加者同士が交流する機会が増えた	17	18%
その他 (とにかく早くコロナ問題が収束してほしい)	2	2%
無回答	4	4%

問12 今後、支部活動を実施する際の課題はなんですか。(あてはまるものすべてに)

	回答	割合
参加者が増加し、場所の確保ができない	3	2%
参加者が集まらない	19	13%
担い手の確保が困難である	26	17%
若い人の参加が少ない	32	21%
地域に関心のない人が多い	22	14%
日中、留守の家が多い	11	7%
地域住民の交流の機会が少ない	17	11%
支部活動活性化事業支援費の使いみちが限られている	8	5%
支部活動活性化事業支援費の申請・報告等の手続きが多い	5	3%
その他 (会員数が高止まっている。参加はしてくれるが担い手側になる人が少ない。 参加者が同じ人で、新しい人が集まらない。)	5	3%
特になし	2	1%
無回答	2	1%

問13 今後、町会(自治会)のできる支部活動はありますか。また、どのような活動を行いたいですか。

	回答	割合
ある	7	15%
現状のままで良い	22	47%
あるが、行う事は難しい	13	28%
ない	1	2%
無回答	4	9%

(ある場合の具体的な事業)

吹矢、元気体操(3)、募金、夏祭り、町会運動会、納涼大会、役員旅行、老人会旅行、グラウンドゴルフ、健康体操、地域の困難な家庭の子供・高齢世帯対象の食事支援、代替事業を検討中

資料 2-1

問14 問13で「3. あるが、行うことは難しい」と回答した方のみ、理由についてお答えください。

	回答	割合
場所の確保ができない	0	0%
担い手の確保ができない	10	42%
指導者がいない	6	25%
その他(参加者の確保、経済的な計画等が不明、定期的に行うことは難しい)	4	17%
無回答	4	9%

問15 今後、支部活動を実施していく上で社協に求める支援は、どのような支援ですか。(あてはまるものすべてに)

	回答	割合
人的支援	12	16%
事業の提案	22	29%
組織体制への支援	11	15%
情報発信	18	24%
その他(社協の役割のPR、事業支援費の増額(2)、特になし、わからない)	7	9%
無回答	5	7%

問16 支部活動の担い手はどのような方ですか。(あてはまるものすべてに)

	回答	割合
町会(自治会)役員	42	37%
老人クラブ会員	28	25%
女性部会員	13	11%
子供会会員	15	13%
民生委員・児童委員	10	9%
社協登録ボランティア	3	3%
町会外の方	0	0%
その他(女性ボランティア、老人会)	2	2%
無回答	1	1%

問17 支部活動の担い手に協力いただく際の負担はありましたか。(あてはまるものすべてに)

	回答	割合
人集めが難しい	28	44%
理解がない	6	10%
担い手の負担が大きい	17	27%
苦労はなかった	6	10%
その他(参加はするが担い手になる人がなかなかいない)	2	3%
無回答	4	6%

問18 社協登録ボランティア(団体・個人)や、他団体との連携について、どうお考えですか。

	回答	割合
現在している	5	11%
現在はしていないが今後必要と考える	22	47%
必要ない	5	11%
無回答	15	32%

(1 現在している連携) グラウンドゴルフ、はぎの会

(2 今後必要と考える連携) 子ども食堂

(3 必要ない理由) 気を使うし煩わしい、現在の活動でとりあえず完結している

問19 広域(近隣支部)での事業の合同開催について、どうお考えですか。

	回答	割合
現在している	3	6%
現在はしていないが今後必要と考える	22	47%
必要ない	11	23%
無回答	11	23%

問20 支部活動の参加者の募集はどのように行っていますか。

	回答	割合
回覧	40	51%
ポスター	12	15%
クチコミ	21	27%
メール	1	1%
SNS (Twitter、Facebook、Instagram など)	0	0%
その他	1	1%
無回答	3	4%

問21 支部活動の参加者の状況はどうか。(あてはまるものすべてに)

	回答	割合
集まらない(減っている)	5	7%
あまり集まらない(少し減っている)	14	19%
おおむね集まっている(おおむね増えている)	12	16%
集まっている(増えている)	1	1%
決まった人だけが参加している	30	41%
町会員以外の参加者が少ない	9	12%
無回答	3	4%

問22 問21で「5.決まった人だけが参加している」と回答した方のみ、理由についてお答えください。

	回答	割合
会場が狭い	2	6%
人数が多い	1	3%
新しい参加者がいない	28	90%
その他	0	0%
無回答	0	0%

問23 貴支部が活動を行う上で大切にしていること(意義、目的)は何ですか。(自由記述)

- ・だれでも参加しやすい活動、雰囲気作り(8)
- ・社会的孤立の減少、地域コミュニティの向上(8)
- ・参加者が楽しみ、コミュニケーションを取ること(6)
- ・町会員及び役員などが活動を行う上で負担にならないような活動を実施すること。

問24 その他、支部活動についての感想、要望等ございましたら記述してください。

- ・元気体操、カラオケ、健康吹矢、グラウンドゴルフ等参加者が同じ人達。回覧しても1人~2人の応募のみ。
- ・活動の担い手をいかにして確保するか悩んでいる。社協からの後方支援を望みたい。
- ・各種団体（壮年会、婦人会、ことぶき会、こども会）との交流を進めたい。避難所へは行けない人に対して、災害時、自宅で過ごせる近隣の手助け方法を考えたい。
- ・自治会員が少なく、決まった人だけの参加になっている。若い人の参加は無く、参加者が高齢化しつつ、これから先の活動が心配です。
- ・住民の町会や他の団体についてもあまり関心がないので難しい。
- ・町会活動、事業が主になり、社協の支部活動がおろそかになっている。町会でも自主防災会の組織のように社協も町会内で組織があれば活動も活発になるかと思う。
- ・あくまでコロナ禍の現状が第一ポイントだったので問19の他町会交流のイベントができず残念でした。（お誘いを受けていました。）今までの慣例的な行事のコミュニケーションの取り方があてはまらないケースが多く、今後住民の皆様の要望を吸い上げ、新しい企画立案が必要と思います。又若い方との交流を推進してゆく為の企画立案を考えてゆきたいと思います。ご年配の方達のイベントは”さくらパル”の活用が必須です。
- ・支部活動をするというよりは、町会活動が支部活動に準じている。
- ・楽しく。老人会（新生会）の毎週水曜日の柳坪公園の掃除（8時30分より）ストレッチ体操（医療センター内福祉課）（9時30分から9時45分）グラウンドゴルフ（9時45分から11時）
- ・当町会の悩みは会員の高齢化、町会会員の減少です。特に若い世帯、集合住宅の方が加入しない。結果として支部活動の参加者も少なくなっている。町会の会員になって支部活動に参加いただける様な活動内容を今後検討する必要があるかと思えます。支部活動を通じて会員増。当町会もりズム体操で補助を受けておりますが、健康体操も今後スタートしたいと考えており、その節はご支援いただきたくお願いします。
- ・少しずつ行事を増やし、若い世代を参加できやすい様にしていた矢先、新型コロナウイルス感染拡大により、すべて中止となり、担い手の方も体をくずしたり、若い人の意識も遠のいたり、厳しい状況となっています。
- ・コロナの影響も大きいですが、地域の親密度の様なものが薄れていく感じがあります。早くに修復しないといけない様に思っています。
- ・存在意義が理解できていない。この支部と町会活動の違いを自分自身あまり理解していない。

地域福祉に関するボランティア（団体）アンケート集計表

対象者	調査時期	配布・回収方法	通知数	回収数	回収率
本会登録ボランティア団体	令和3年12月	郵送による発送・回収	45通	33通	73.3%

問1 貴団体の活動内容を教えてください。（あてはまるものすべてに ）

	回答	割合
福祉に関すること（児童・母子福祉、高齢者福祉、障がい者福祉、その他社会福祉など）	28	46%
健康に関すること（健康づくり、医療づくり）	11	18%
防犯・防災に関すること（交通安全・防犯、防災、消費者問題など）	2	3%
環境保全に関すること（自然環境保護、清掃・美化、公害防止、リサイクルなど）	4	7%
教育に関すること（教育、生涯学習、文化・芸術の振興スポーツ、人権、青少年の育成など）	12	20%
まちづくりに関すること（産業振興、都市づくりなど）	2	3%
その他 （ほほえみの郷でのお手伝い。）	2	3%
無回答	0	0%

問2 貴団体の活動圏域を教えてください。（あてはまるものすべてに ）

	回答	割合
下戸田地区（喜沢、喜沢南、中町、下戸田、下前、川岸1～2丁目）	13	25%
上戸田地区（本町、南町、戸田公園、川岸3丁目、上戸田、大字上戸田）	13	25%
新曽地区（大字新曽、新曽南、氷川町、大字下笹目）	6	12%
笹目地区（笹目北町、笹目南町、早瀬、笹目）	3	6%
美女木地区（美女木、美女木東、美女木北）	3	6%
市内全域	12	23%
その他（川口市、さいたま市、羽生市、白河市、近隣市）	2	4%
無回答	0	0%

問3 貴団体の活動の目的・意義は何ですか（自由記述）

- ・高齢者の方々との交流、ふだん練習した歌を楽しんで頂けたらと思います。
- ・一期一会の精神とふれあいを大切に、会員各自のボランティア活動を通じて明るい地域社会と福祉の向上に寄与する。（会員規約より）会員が健康で明るく楽しい生活になるように。
- ・視覚障害のある方と走ること。
- ・住み慣れた戸田の街でいきいきと生きる。
- ・高齢者に絵本や紙芝居を読み聞かせすることで、情操を豊かにし、想像力を育む手助けをしたい。心がおだやかになる暖かい時間が提供できればなお良い。
- ・子育て広場の開催や子育て支援イベントのお手伝いをしながら地域の子育て中の方に寄り添い、応援していきたいと思っています。
- ・高齢者に音楽を届け元気をだしてもらおう。今はコロナで無理があるのか？
- ・高齢者福祉・協力
- ・手芸の好きな会員が親睦を図りながら、手作り品を作成し、寄付や販売をし、売上金を社協に寄付している。
- ・福祉の杜にて、集団リハビリ体操のお手伝い、その他、美容学習でのお手伝い。
- ・心よい昔の歌をハーモニカにのせて聞いてもらおう。
- ・高齢者障害者の方々と一緒に同じスポーツを通し支え合い、生き生きと明るく過ごせる時間が持ちたい、少しでも楽しみたいからです。
- ・老人ホーム内の植木の手入れ、施設玄関の生け花を活ける、バザーでの手伝い等を通して、入居者、来訪者の方々に喜んで頂き、メンバーとの交流も楽しみです。
- ・外国から来た子供たちの為の日本語支援と学習支援。進学、進路を考え、日本の環境に慣れていくことを目的としています。
- ・戸田のすべての子ども達に自由にいきいきのびのびと外で遊んで欲しいことを願って活動しております。
- ・戸田ユニークダンス（車いす）を通して障がいのある人ない人がともに楽しみ明るい地域社会をつくることを目的としています。
- ・絵手紙を通してのふれあいボランティアの活動で、地域福祉の向上に寄与することを目的としています。
- ・戸田市ボランティア市民活動支援センター「TOMATO」のイメージキャラクター「トマピー」の着ぐるみとともに、各種イベントに参加し、TOMATOのPR・市民活動の活性化に寄与することを目的としています。
- ・戸田の歴史を知ることを通して戸田を知り、年齢を問わずにコミュニティづくりと生涯学習を目指す。
- ・むかし話を通しての仲間づくり。デイサービス施設などへ訪問して、自分達と施設利用者を元気にする。
- ・高齢者、子育て世代及び障害者等へのボランティア活動を通して地域に貢献する
- ・高齢者、障害者、福祉等へのボランティア活動を行う事により、健全な社会の育成に寄与する。
- ・高齢者等へのボランティア活動を通して、地域社会のQOL向上に貢献する事。

- ・美容ボランティア、フットケア、足育、靴育、子どもから高齢者まで幅広くQOLの向上を目指して。
- ・障害者と共に又高齢者と共に楽しく、手話ダンス、社交ダンスを踊ること。
- ・会員相互の親睦を通して、各自、福祉に関する自己実現を目指すことを目的とします。各自を拘束しないので、広範囲の社会福祉に自由意思で参加できる（一人で複数の団体の手伝いをしている）
- ・子育ての楽しい、地域みんなで子ども達を見守る安心できるまちづくり
- ・高齢者及び障害者への福祉と会員同士の交流仲間づくり。
- ・高齢者や障害者への手助けによる福祉及び会員同士の健康づくりや仲間づくり
- ・地域福祉及び障害福祉を目的とし、蠟燭の明かりのように少しでも社会の役に立ちたいを目的とする。

問4 貴団体の活動メンバーが、ボランティアを続けている理由として聞かれることは何ですか。（あてはまるものすべてに ）

	回答	割合
他人や社会のために役に立ちたいから	24	21%
自分の技能や能力、経験を活かしたいから	17	15%
余暇を有効に過ごしたいから	9	8%
友人がいるから	11	10%
活動に興味があるから	16	14%
介護予防になるから	7	6%
つながりづくりになるから	10	9%
自分の生きがいのため	19	17%
その他	1	1%
無回答	0	0%

問5 貴団体が活動を行う上で困っていることはどのようなことですか。（あてはまるものすべてに ）

	回答	割合
メンバーが不足している	14	24%
リーダー（後継者）が育たない	7	12%
市民に情報発信する場や機会が乏しい	6	10%
支援を必要とする人の情報が得にくい	4	7%
他の団体と交流する機会が乏しい	3	5%
活動の場所（拠点）の確保が難しい	4	7%
活動資金が足りない	4	7%
その他	7	12%
特に困ったことはない	10	17%
無回答	0	0%

（その他）

- ・メンバーが高齢になってきた。
- ・コロナの為、活動が制限されている（2）
- ・多くの人を読むのは「広報戸田市」だと思うが、このごろ「お知らせ」欄で市民活動のお知らせはないようだし、載るとしても特定の団体で極めて制約が大きいようだ。
- ・コロナ終息待ち。
- ・新規入会者の減少。

問6 貴団体の活動資金や運営資金等の収入源は以下のどれですか。（あてはまるものすべてに ）

	回答	割合
会費収入	23	53%
委託料	0	0%
補助金	1	2%
委託料以外の事業収入	1	2%
公募による助成金や協賛金	3	7%
寄付金	2	5%
バザー等の売上	5	12%
その他（ ）	6	14%
無回答	2	5%

問7 社協から声かけがあったときに、今の活動以外の分野でも、活動したいですか。
(1つに)

	回答	割合
積極的に活動したい	3	9%
活動してみたいと思う	9	26%
活動してみたいが難しい 理由：高齢化、病気のため(9)、子育て中、介護のため(2)、時間的な 余裕が無い(5)、コロナ禍のため困難(2)、人手が不足している	21	62%
無回答	1	3%

問8 問7で「1.積極的に活動したい」、「2.活動してみたいと思う」と答えた方のみお答えください。どんな活動を始めてみたいと思いますか。(あてはまるものすべてに)

	回答	割合
福祉に関すること(児童・母子福祉、高齢者福祉、障がい者福祉、その他社会福祉など)	3	6%
健康に関すること(健康づくり、医療づくり)	9	17%
防犯・防災に関すること(交通安全・防犯、防災、消費者問題など)	21	40%
環境保全に関すること(自然環境保護、清掃・美化、公害防止、リサイクルなど)	19	36%
教育に関すること(教育、生涯学習、文化・芸術の振興スポーツ、人権、青少年の育成など)	0	0%
まちづくりに関すること(産業振興、都市づくりなど)	0	0%
その他	0	0%
無回答	1	2%

問9 行政や他の組織・団体と現在、連携をしているもしくは将来、連携を強めたいと思っていますか。また連携することでどのような効果を期待しますか。

連携意向 (いずれか一つ)	現在	将来
	1. 行っている 2. 行っていない	1. 連携を強めたい 2. 必要性を感じない 3. わからない

問9		回答1	割合	回答2	割合	回答3	割合	無回答	割合
市役所	現在	5	15%	20	61%			8	24%
	将来	9	27%	3	9%	13	39%	8	24%
社協	現在	13	39%	14	42%			6	18%
	将来	13	39%	1	3%	12	36%	7	21%
福祉事業者	現在	12	36%	15	45%			6	18%
	将来	12	36%	2	6%	13	39%	6	18%
保育園	現在	3	9%	22	67%			8	24%
	将来	9	27%	3	9%	13	39%	8	24%
小学校	現在	4	12%	20	61%			9	27%
	将来	7	21%	4	12%	13	39%	9	27%
高校	現在	1	3%	22	67%			10	30%
	将来	5	15%	5	15%	13	39%	10	30%
町会	現在	5	15%	18	55%			10	30%
	将来	8	24%	2	6%	13	39%	10	30%
他の団体	現在	9	27%	15	45%			9	27%
	将来	11	33%	2	6%	11	33%	9	27%
企業	現在	2	6%	22	67%			9	27%
	将来	6	18%	3	9%	15	45%	9	27%

自由記述

市役所	<ul style="list-style-type: none"> ・ ボランティア活動を見て知ってほしい。 ・ 再びひろばが開催されたら、親子さんの行き先の一つとしてひろば開催日を告知したい。 ・ コロナ禍で現在中止中、受入団体が断っている。 ・ 戸田市協働推進課、戸田市多文化共生推進計画への参加 ・ 子どもはなぜ遊ぶのか、遊ぶのが大切なのはなぜかともに連携していきたい。 ・ 市役所側が必要としないことを団体がすることにかかわらないと思います。 ・ ボランティア活動の実態を把握し、必要な施策を推進してもらいたい。 ・ 一年に1回出前講座を行っている。
-----	--

社協	<ul style="list-style-type: none"> ・文書手続きだけでなく、時にはボランティア活動を見てください。 ・再びひろばが開催されたら、親子さんの行き先の一つとしてひろば開催日を告知したい。 ・コロナ禍で現在中止中、受入団体が断っている。 ・彩の国ボランティア事業の実施、体験ボランティアの受け入れ等 ・ボランティアグループに定額経費を配分してもらいたい。（春日部の例） ・ボランティア保険等、お世話になっております。いつもありがとうございます。 ・活動において、わからないことなどを聞くことにしている。
福祉事業者	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者施設で活動中（喫茶、入居者支援）他のグループと協力中。 ・コロナ禍で現在中止中、受入団体が断っている。 ・福祉の杜、優和の杜のデイサービスの皆様やグループホーム多居夢の入居の皆様と一緒に描こう、話そう、唄おうの絵手紙交流を行っている（コロナの為現在は中止） ・ボランティアニーズ（特に再開時期）を明示。ボランティアに対するケアを大切に ・高齢者施設慰問・・・スタッフも参加すると高齢者（利用者）は喜ぶのでは。喫茶・・・日々十分連携出来ている。 ・コロナ終息待ち。 ・今ラジオ体操で連携している。
保育園	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で現在中止中、受入団体が断っている。 ・花壇でボランティアメンバー、施設入居者と共に過ごせれば、皆さん喜ばれます。 ・新1年生（幼稚園児）の学校生活、準備指導 ・活動日程等のチラシを置いてほしいです。 ・何かできることがあれば
小学校	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で現在中止中、受入団体が断っている。 ・学校より必要とされる（日本語学習）のお子さんの受入指導 ・活動日程等のチラシを置いてほしいです。 ・中学校に対しては手伝いを申し出たことはあるが反応は無かった。学校は多忙です。 ・何かできることがあれば
高校	<ul style="list-style-type: none"> ・広場開催スタッフ、ボランティアとして参加者を募集したい。 ・コロナ禍で現在中止中、受入団体が断っている。 ・活動日程等のチラシを置いてほしいです。教育志望の学生さんにボランティアとして、遊びに来てほしいです。 ・何かできることがあれば
町会	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の子育て中の方へ、ひろば開催日を告知したい。

	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で現在中止中、受入団体が断っている。 ・今年度は少しずつではありますが、連携をとらせて頂いております。活動を市内に広げていくためにも引き続き行いたいです。 ・旧来のやり方があるから、入り込んで何かするのは難しそう。 ・何かできることがあれば
他の団体	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援イベント等で参加協力をとらに行っている。今後も引き続き協力しあいたい。 ・コロナ禍で現在中止中、受入団体が断っている。 ・医療並びに健康に関する予防。 ・ラジオ体操においてグループ23と連携している。
企業	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で現在中止中、受入団体が断っている。 ・施設バザー時、小学生、中学生の歌、演奏があり、飲料の提供をお願いしたい。 ・戸田中央リハビリテーション病院に絵手紙の展示を行っている。 ・何かできることがあれば

問10 行政や他の組織・団体と連携を強めていく上で、支障となりそうなことはありますか。(あてはまるものすべてに)

	回答	割合
メンバー・スタッフの協力が得られるか	11	24%
連携したい団体等があるか	5	11%
アプローチ方法がわからない	0	0%
どのような連携ができるか	12	26%
漠然と不安がある	2	4%
特にない	8	17%
その他(手間、面倒、スタッフは日常業務に追われている、政治と宗教)	3	7%
無回答	5	11%

問11 ボランティアセンターからの情報提供は十分だと感じますか。(1つに)

	回答	割合
十分である	12	36%
どちらかといえば十分である	18	55%
あまり十分でない	2	6%
十分でない	1	3%
無回答	0	0%

資料 2-2

問12 「3. あまり十分でない」、「4. 十分でない」と回答した方のみ、どのような情報提供が必要ですか。（情報提供の方法、情報の内容等）

(1) 情報提供の方法

	回答	割合
SNS (Twitter、Facebook、Instagram など)	0	0%
ホームページ	0	0%
メール	1	33%
その他 (具体的に :	0	0%
無回答	2	67%

(2) 情報の内容

	回答	割合
他団体の活動状況	1	25%
活動の場に関する情報	1	25%
助成金情報	0	0%
その他 (具体的に : 行政、団体等の情報に偏りすぎてつまらない。)	1	25%
無回答	1	25%

問13 ボランティアセンターに求める支援は何ですか。（あてはまるものすべてに ）

	回答	割合
団体や活動についての PR	8	11%
活動上必要な情報の提供	14	19%
活動場所の提供	10	14%
会員募集の支援	8	11%
リーダーの養成支援	3	4%
経済的支援	4	5%
他団体とのネットワーク化	5	7%
団体運営上の助言	3	4%
設備・備品の充実	6	8%
成果の発表の場の提供	3	4%
その他 (具体的に : グループ交流支援、センターの施策説明ではなく、交流の時間を多くしてほしい。)	1	1%
特にない	5	7%
無回答	4	5%

資料 2-2

問14 地域や生活の困りごとについて、貴団体が耳にすることはどのようなことですか。(あてはまるものすべてに)

	回答	割合
こども、子育てに関すること	8	11%
障がいに関すること(身体・知的・精神等)	10	14%
高齢、介護に関すること(認知症・見守り等)	18	25%
人権、家庭内暴力に関すること	1	1%
健康、医療に関すること	12	17%
就労、経済的な事項に関すること	2	3%
防災、防犯、交通安全に関すること	8	11%
福祉に関する情報提供に関すること	8	11%
その(具体的に:荒川の氾濫と避難)	1	1%
無回答	4	6%

問15 日常生活の中で起こる問題に対して、どのような方法で解決するのが良いと思いますか。(1つに)

	回答	割合
自分たちの生活に関わることだから、できるだけ住民同士で協力して解決したい	7	21%
地域のことに熱心な人たちが考えてくれるので、その人たちに任せておきたい	0	0%
住民と行政の協働で解決したい	23	70%
行政に解決してもらえるように要求したい	1	3%
その他(基本は住民同士で解決、それが困難な時は行政等に。)	1	3%
無回答	1	3%

問16 いわゆる「8050 問題」など、一つの相談支援機関だけでは解決できない人や制度の狭間にある人を支援につなげるためには、どのような仕組みづくりが必要だと思いますか（○は3つまで）

8050 問題とは

高齢の親が長期間ひきこもる子どもと一緒に暮らし（80 歳代の親と 50 歳代の子の親）生活面、経済面を含め支援している状態のこと。家族や本人の病気、社会的孤立等、複数の課題が背景にあると言われてしています。

	回答	割合
地域コミュニティの育成と支援	7	9%
どのような相談もまるごと受け止める体制の整備	17	21%
支援を必要としている人の早期把握	19	24%
福祉に関する相談窓口の周知	9	11%
相談支援機関と地域住民、地域の関係者（民生委員や児童委員等）との連携	10	13%
多様な活動団体、ボランティア等が協働で支援する仕組み	11	14%
相談支援機関や地域福祉活動の担い手を対象とした研修会の開催	2	3%
その他（民生委員や児童指導員等は余り知られていない？個人情報やプライバシーの関係で困難だと思う（2））	2	3%
無回答	3	4%

問17 お住いの地域で、日常生活を送るうえで心配な方や、困っている方がいたら、貴団体にできることは何ですか。（あてはまるものすべてに）

	回答	割合
見守りや声かけ	21	37%
話し相手	12	21%
日常生活上の手伝い（電球の交換、買い物、ゴミ出し、通院等）	5	9%
草取りや庭の掃除	3	5%
食事作りやおすそわけ	0	0%
学校や保育園、通所施設の送り迎え	0	0%
短時間の子どもの預かり	0	0%
災害など緊急時の手助け（安否確認、避難所への誘導など）	8	14%
その他（高齢者の組織）	1	2%
特にない	5	9%
無回答	2	4%

問18 子どもからお年寄りまで、誰もが住みやすいまちづくりを推進していくにあたり、行政や社会福祉協議会ではどのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。(〇は3つまで)

	回答	割合
福祉に対する意識の向上	3	4%
情報発信の工夫	4	5%
地域福祉活動の担い手の確保	11	14%
顔の見える関係づくり	10	13%
地域福祉活動の支援	4	5%
地域の様々な活動主体のネットワークづくり	4	5%
困りごとを抱えた人が適切な支援につながる体制づくり	18	23%
誰もが安心できる環境の充実	7	9%
地域の防災力の強化	6	8%
権利擁護の推進	0	0%
地域生活課題の複合化・複雑化への対応	1	1%
社会的孤立、制度の狭間の問題への対応	8	10%
無回答	2	3%

問19 地域福祉推進についてご意見・ご要望等、ご自由にお書きください。

- ・ボランティアセミナー15期、その後ボランティア活動14年、高齢化による病気等ありますが、お互いにはげまし合い、(今は新型コロナウイルスのため活動、集いはできませんが)いきいきタウン戸田(パル)の喫茶1月再開に向けて検討中。またにぎやかないちご会メンバーになります。
- ・知ることとみえる顔のPR。地域住民の理解、知ってもらうことが大切。
- ・お年寄りは智恵や経験を沢山持っておられます。昔のことで時代遅れということもなかにはあるけれど本当は知らないことを知りたいのは若い親たち、こどもも老人のあり方を親を通して身近につながる関係を作っていけるとよいと思います。
- ・強者(富裕層、強健康者、技能者等)の組織化と支援活動への誘引
- ・今回のタテ、ヨコの串を刺す活動は素晴らしいと思います。そこで私のつたない経験ですが、永年バス停や公園を自主的に清掃していて、ふと考えて、なぜそこは汚れるのか考え、バス会社と市役所に聞いてみました。すると各々の場所には清掃する団体や部署があり、その電話一本で見違える程きれいに継続されるようになりました。結果的に維持する部署がサボっていたし、ボランティアが邪魔していたのかも知れませんが、福祉にこのような面がないかチェックする必要を感じました。
- ・みなさんが笑顔で暮らせれば一番いいです。

ご回答ありがとうございました。

地域福祉に関するボランティア（個人）アンケート集計表

対象者	調査時期	配布・回収方法	通知数	回収数	回収率
本会登録ボランティア	令和3年12月	郵送による発送・回収	41通	32通	78.0%

問1 あなたの活動内容を教えてください。（あてはまるものすべてに ）

	回答	割合
福祉に関すること（児童・母子福祉、高齢者福祉、障がい者福祉、その他社会福祉など）	27	48%
健康に関すること（健康づくり、医療づくり）	5	9%
防犯・防災に関すること（交通安全・防犯、防災、消費者問題など）	4	7%
環境保全に関すること（自然環境保護、清掃・美化、公害防止、リサイクルなど）	5	9%
教育に関すること（教育、生涯学習、文化・芸術の振興スポーツ、人権、青少年の育成など）	9	16%
まちづくりに関すること（産業振興、都市づくりなど）	1	2%
その他 （老人施設での関わり、コロナ禍の前は環境保全や教育に関するボランティアをやっていたが今は何もしていない）	4	7%
無回答	1	2%

問2 あなたの活動圏域を教えてください。（あてはまるものすべてに ）

	回答	割合
下戸田地区（喜沢、喜沢南、中町、下戸田、下前、川岸1～2丁目）	17	32%
上戸田地区（本町、南町、戸田公園、川岸3丁目、上戸田、大字上戸田）	18	34%
新曽地区（大字新曽、新曽南、氷川町、大字下笹目）	6	11%
笹目地区（笹目北町、笹目南町、早瀬、笹目）	2	4%
美女木地区（美女木、美女木東、美女木北）	0	0%
市内全域	4	8%
その他（都内、川越市、蕨南町、出演依頼や大会出場等地方）	5	9%
無回答	1	2%

資料 2-3

問3 あなたがボランティアを続ける上で最も重要と考えるものは何ですか。（あてはまるものすべてに ）

	回答	割合
他人や社会のために役に立ちたいから	21	19%
自分の技能や能力、経験を活かしたいから	16	14%
余暇を有効に過ごしたいから	12	11%
友人がいるから	6	5%
活動に興味があるから	18	16%
介護予防になるから	9	8%
つながりづくりになるから	12	11%
自分の生きがいのため	17	15%
その他（ ）	1	1%
無回答	0	0%

問4 あなたが活動を行う上で困っていることはどのようなことですか。（あてはまるものすべてに ）

	回答	割合
支援を必要とする人の情報が得にくい	11	26%
他のボランティアと交流する機会が乏しい	9	21%
活動の場所（拠点）の確保が難しい	3	7%
活動資金が足りない	0	0%
どんな活動をすればよいかかわからない	2	5%
その他[具体的に：体力の衰え同じ活動をする仲間が欲しい、時間が足りない、忙しい、新しい人材が足りない、持続可能な活動をするためには有償の活動が多い方が良い]	5	12%
特に困ったことはない	9	21%
無回答	3	7%

問5 あなたは社協から声かけがあったときに、今の活動以外の分野でも、活動したいですか。(1つに)

	回答	割合
積極的に活動したい	9	27%
活動してみたいと思う 理由：)今は時間的に余裕があり体力的にもまだ大丈夫と思うので、自分の出来る活動があればやります。	13	39%
活動してみたいが難しい 理由：孫の支援、難しいのではなくその時の自分の体調や用事などがある場合があるが声掛けはしてほしい、体力の衰え(特に視力、聴力)を感じるようになった、視覚障害のため忙しい、今後介護も増えそう、健康上の問題、コロナ禍後所属団体の活動が始まるのでスケジュールが多すぎると困るから、高齢者となりました、今は残念だが時間が足りない。)	11	33%
無回答	0	0%

問6 問5で「1.積極的に活動したい」、「2.活動してみたいと思う」と答えた方のみお答えください。どんな活動を始めてみたいと思いますか。(あてはまるものすべてに)

	回答	割合
福祉に関すること(児童・母子福祉、高齢者福祉、障がい者福祉、その他社会福祉など)	14	26%
健康に関すること(健康づくり、医療づくり)	8	15%
防犯・防災に関すること(交通安全・防犯、防災、消費者問題など)	8	15%
環境保全に関すること(自然環境保護、清掃・美化、公害防止、リサイクルなど)	8	15%
教育に関すること(教育、生涯学習、文化・芸術の振興スポーツ、人権、青少年の育成など)	8	15%
まちづくりに関すること(産業振興、都市づくりなど)	6	11%
その他	0	0%
無回答	1	2%

問7 ボランティアセンターからの情報提供は十分だと感じますか。(1つに)

	回答	割合
十分である	9	28%
どちらかといえば十分である	17	53%
あまり十分でない	5	16%
十分でない	1	3%
無回答	0	0%

問8 「3. あまり十分でない」、「4. 十分でない」と回答した方のみ、どのような情報提供が必要ですか。(情報提供の方法、情報の内容等)

(1) 情報提供の方法

	回答	割合
SNS (Twitter、Facebook、Instagram など)	1	11%
ホームページ	3	33%
メール	2	22%
その他 (具体的に: 誰に話したら聞いてもらえるのか、テレビ)	2	22%
無回答	1	11%

(2) 情報の内容

	回答	割合
ボランティア団体の活動状況	7	58%
活動の場に関する情報	5	42%
助成金情報	0	0%
その他 (具体的に:)	0	0%
無回答	0	0%

問9 ボランティアセンターに求める支援は何ですか。(あてはまるものすべてに)

	回答	割合
活動上必要な情報の提供	20	33%
活動場所の提供	13	21%
ボランティア同士の交流の場の提供	15	25%
設備・備品の充実	4	7%
成果の発表の場の提供	6	10%
その他()	0	0%
特にない	2	3%
無回答	1	2%

問10 地域や生活の困りごとについて、あなたが耳にすることはどのようなことですか。(あてはまるものすべてに)

	回答	割合
こども、子育てに関すること	9	10%
障がいに関すること(身体・知的・精神等)	14	15%
高齢、介護に関すること(認知症・見守り等)	23	24%
人権、家庭内暴力に関すること	4	4%
健康、医療に関すること	15	16%
就労、経済的な事項に関すること	4	4%
防災、防犯、交通安全に関すること	10	11%
福祉に関する情報提供に関すること	11	12%
その他(具体的に：女子の貧困について)	1	1%
無回答	3	3%

問11 あなたは日常生活の中で起こる問題に対して、どのような方法で解決するのが良いと思いますか。(1つに)

	回答	割合
自分たちの生活に関わることだから、できるだけ住民同士で協力して解決したい	10	27%
地域のことに熱心な人たちが考えてくれるので、その人たちに任せておきたい	1	3%
住民と行政の協働で解決したい	20	54%
行政に解決してもらえるように要求したい	3	8%
その他(その時々で異なる。基本は住民同士で解決しそれが困難な時は行政等に)	2	5%
無回答	1	3%

問12 あなたは、いわゆる「8050 問題」など、一つの相談支援機関だけでは解決できない人や制度の狭間にある人を支援につなげるためには、どのような仕組みづくりが必要だと思いますか（○は3つまで）

8050 問題とは 高齢の親が長期間ひきこもる子どもと一緒に暮らし（80 歳代の親と 50 歳代の子の親）生活面、経済面を含め支援している状態のこと。家族や本人の病気、社会的孤立等、複数の課題が背景にあると言われています。

	回答	割合
地域コミュニティの育成と支援	11	14%
どのような相談もまるごと受け止める体制の整備	14	18%
支援を必要としている人の早期把握	17	21%
福祉に関する相談窓口の周知	6	8%
相談支援機関と地域住民、地域の関係者（民生委員や児童委員等）との連携	13	16%
多様な活動団体、ボランティア等が協働で支援する仕組み	13	16%
相談支援機関や地域福祉活動の担い手を対象とした研修会の開催	6	8%
その他	0	0%
無回答	0	0%

問13 お住いの地域で、日常生活を送るうえで心配な方や、困っている方がいたら、あなたにできることは何ですか。（あてはまるものすべてに ）

	回答	割合
見守りや声かけ	28	25%
話し相手	20	18%
日常生活上の手伝い（電球の交換、買い物、ゴミ出し、通院等）	17	15%
草取りや庭の掃除	8	7%
食事作りやおすそわけ	8	7%
学校や保育園、通所施設の送り迎え	8	7%
短時間の子どもの預かり	6	5%
災害など緊急時の手助け（安否確認、避難所への誘導など）	15	13%
その他（介護事業所のお手伝い等）	1	1%
特にない	0	0%
無回答	1	1%

問14 あなたは、子どもからお年寄りまで、誰もが住みやすいまちづくりを推進していくにあたり、行政や社会福祉協議会ではどのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。(〇は3つまで)

	回答	割合
福祉に対する意識の向上	5	6%
情報発信の工夫	11	12%
地域福祉活動の担い手の確保	14	16%
顔の見える関係づくり	13	14%
地域福祉活動の支援	5	6%
地域の様々な活動主体のネットワークづくり	6	7%
困りごとを抱えた人が適切な支援につながる体制づくり	18	20%
誰もが安心できる環境の充実	4	4%
地域の防災力の強化	4	4%
権利擁護の推進	0	0%
地域生活課題の複合化・複雑化への対応	4	11%
社会的孤立、制度の狭間の問題への対応	10	0%
無回答	0	6%

問15 地域福祉推進についてご意見・ご要望等、ご自由にお書きください。

・新型コロナウイルスのため、ボランティア活動がとまってしまい、ボランティアをしていた方が、自分自身が生き生き元気だったと感ずます。人のためにボランティアだけでない自分のためと良くわかりました。

・私の町会は、以前住んでいた方がいなくなり、古い家がこわされ、新しい家ができ、若い人が見られるようになりましたが、声をかける機会も無く、ふれあいがありません。姿はみかけますが顔がわからないので、すれ違った時も声掛けができません。コロナ以前も町会でのふれあい行事がなくなり、盆踊りの抽選会も年寄りには参加しなくなりました。年寄り若い住人がふれあえる何か良い方法はないものでしょうか？町会の活動にもマンネリ化がみえてきました。

・自信のあった体力面が傘寿を過ぎ衰えだした感があり、何とかお世話される側に回らないよう、現状維持を図るべく、ウォーキング等定期的に体を動かしたい。現在休止中の社会的弱者への予防面での活動を続けたい

・先日フードボランティアの仕分けに参加しました。この企画は困っている家庭向けですので、同時に新曽中学校や公民館では生理用品を保健室で無料で配っていると宣伝して欲しいです。よろしく願います。

・お年寄りや、恵まれない子供たちについてボランティアを通し心の助けになりたい。

・ボランティアの高齢化が問題。若い世代が活躍できる仕組みや場所

・行政と社会福祉協議会との共生。地域でできることはあるが、手伝って欲しいと声を出せないのでは。

・何か所かボランティア活動をしていましたが、コロナウイルスですべて中止やら解散で終わりました。

早く以前のような時代が来ることを願っています。早く活動したいと思います。

・孤立を防ぐため、声掛けを心がけるが、認知ぎみなことをみつけても、本人が人に知られたくない(特に近所の方に)とこもりがちになったり、福祉を受けることをこぼみ、ご家族でかかえこむ方がみえるので、包括へ行くまでの手助けをしたいと思います。

・世代によって活動(生活)時間が違い、地域の人たちが集ったり、協働したりできる機会がほとんどないです。ボランティアも一部の人たちがやっている印象なので、もっと参画しやすい活動があればいいなと思います。困っている人はたくさんいるはずなので、何かアクションすることで、少しでもいい社会になればいいですね。

・次代を反映しているのか、地域のおつき合いが少なくなり、ほんのちょっとしたお手伝いも声がかかりにくい状況があります。このアンケート用紙の「 」を読み大変参考になりました。もちろん行政にもがんばっていただきたいのですが、今すぐ普通の市民ができることに着手しないと、生活上の困難は自分自身で引き受けることになりそうです。高齢者として心配はつきません・・・。今般、貴社会福祉協議会のボランティアセミナーに参加させていただき、とても勉強になりました。日頃のご努力に感謝申し上げます。

・日常生活を送る中で、見慣れた顔が周りにいてくれることはどの世代においても安心で心強いはずである。そんな小さな輪を広げて大きく繋げたら理想だと思う。活動できる人が無理なく、自分のペースで社会参加しやすくする為には(認知症やデイ参加者も含めて)有償ボラやワーカーズ組織等がもっと増えたら、やりやすいのではと考えている。

・困っている人、助けを求めている人が気軽に情報発信出来るように成ること。助けたいと思っている人が気軽に手助けする事が出来る社会に成ればと思います。

・学校教育での福祉科目の導入

・地域福祉活動を中心となって担う人材や団体に対する行政や企業の支援が重要と考えます。AIでは出来ない分野こそもっと「本職」として活動できる体制にして行けば、人材はたくさんいるはずで、持続可能な支援には中心となるキーパーソンはボランティアでは限界があります。支援する人の支援について行政からのサポートがあればもっとひろく推進すると考えます。

ご回答ありがとうございました。

地域福祉に関する福祉関係団体アンケート集計表

対象者	調査時期	配布・回収方法	通知数	回収数	回収率
市内福祉関係団体	令和3年12月	郵送による発送・回収	45通	25通	55.5%

問1 実施している事業や取組みの分野は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

	回答	割合
高齢者福祉	10	29%
障がい者福祉	11	31%
児童福祉	10	29%
教育	0	0%
保健・医療	0	0%
スポーツ・健康	2	6%
その他（まちづくり、国際交流等）	2	6%
無回答	0	0%

問2 貴団体の活動の目的・意義は何ですか（自由記述）

- ・高齢者の生きがいづくり
- ・市民のスポーツ実施率の向上。スポーツ活動、文化活動を通じた地域課題の解決
- ・ひとりひとりの個性を大切に明るく育てほしい。
- ・乳幼児が心身ともに健やかに育成されるための多様な福祉サービスが、その利用者の意向を尊重して総合的に提供されるよう創意工夫することにより、利用者が個人の尊厳を保持しつつ、自立した生活を地域社会において営むことができるよう支援することを目的とした社会福祉事業。
- ・障害があっても自立に向けた活動を支援する事。市内のハードソフト面の改善に向けた取り組みを進める事。
- ・児童福祉施設を運営し、ひとり親・子育て及び学習支援をとおり、経済的困窮世帯に対し、サービス提供を行い生活の向上を目指します。
- ・聴覚障害者（ろう者）が安心した生活がおくれるように
- ・市内の障害者・児の方またその家族の方の生活に関するなんでも相談窓口となり、当事者の権利擁護、地域づくりなどに取り組みます。
- ・民生委員児童委員、地区団体。
- ・地域住民の心身の健康の保持及び生活の安定のために必要な援助を行うことにより、その保健医療の向上及び福祉の増進を包括的に支援すること。
- ・子どもの健全育成を図る活動。
- ・誰もが生活しやすい安全安心のまちづくりの実践。
- ・国外の諸都市及び在住外国人との積極的な市民交流等を行うことにより、市民の国際意識の高揚、自主的文化活動の促進及び文化的地域交流活動の推進を図り、もって国際親善並びに市民生

活の向上及び発展に寄与することを目的とする。

・戸田市、蕨市の「療育を必要とする児童（就学前中心）」に対して、通所しての支援、地域に向けた支援（発達相談、カンガルー通園、巡回相談、保育所等訪問支援など）を実施。

発達支援を軸に、家族支援、関係諸機関との連携（学校、幼稚園、保育園への移行支援など）を総合的に行うセンターとして役割を担う。）

・ノーマライゼーションの理念にもとづいた地域づくり

・地区民児協は任務の遂行と円滑な運営を図るとともに地域福祉の増進に寄与することを目的とする。

・高齢者及び障害者に対し、介護及び自立支援とともに、自立して心豊かに安心して暮らすことのできる福祉に貢献することを目的とする。

・65歳以上の高齢者の相談窓口となっており、介護に関する相談・悩み以外にも、健康や福祉、医療や生活に関することなど、高齢者に関する様々な相談に対応し、適切なサービスや機関、各種制度の利用につなげていく。

・戸田市の高齢者福祉の向上を目指し、多様なニーズに対応できるよう介護保険サービス、戸田市の高齢者福祉サービス、その他の多様なサービス等を適切に組み合わせ、関係機関との連携を主導していく。

・多様化した文明の激流に飲み込まれることなく、人間のぬくもり、大切な心を置き忘れることなく、個々の力を発揮し、家庭に職場に地域社会に貢献できるよう生活臨床心理カウンセリングの観点から特に精神障害者の自立に向けて、地域と連携した活動をさらに拡大していきます。

・地域と交流を深め親しまれる施設を目指す。安心・安全・快適な生活を支援する。利用者の声・地域の声を真摯に受け止め満足度を追及する。「心配り、目配り、心配りに心がける。常に向上心を持ち物事に取り組む。」

問3 活動圏域を教えてください。（あてはまるものすべてに ）

	回答	割合
下戸田地区（喜沢、喜沢南、中町、下戸田、下前、川岸1～2丁目）	3	9%
上戸田地区（本町、南町、戸田公園、川岸3丁目、上戸田、大字上戸田）	2	6%
新曽地区（大字新曽、新曽南、氷川町、大字下笹目）	4	12%
笹目地区（笹目北町、笹目南町、早瀬、笹目）	3	9%
美女木地区（美女木、美女木東、美女木北）	3	9%
市内全域	15	44%
その他（日本全国からの受入、対象地域は市内全域です。蕨市、事業によっては市外も、川口市、さいたま市の一部）	4	12%
無回答	0	0%

問4 最近、地域で気になる課題がありますか。該当する項目に○をつけ、内容を具体的に書きください。

項目	該当する項目について具体的に書きください。(自由記述)
高齢・介護 (認知症、見守り)	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者、要介護者の居場所、活躍の場、見守り体制が不十分 ・地域包括ケアシステム、認知症取組み等 ・コロナ禍でインフォーマルな活動場所が減少している ・老老介護についての問題、ひとり暮らしのろう者が高齢化しており、近隣の手伝いが必要であるが、コミュニケーションが難しい。 ・キーパーソンの不在。(家族に障害があったり、本人の高齢化により、孫や甥、姪などがキーパーソン候補だが疎遠であったり。) ・徘徊等に対するコミュニティ全体での見守りできるまちづくり。 ・ヤングケアラーの問題が顕在化している。 ・担当地区で高齢者の見守りは行っている。コロナの関係で声無しで。 ・コロナ禍による閉じこもり等の要因により、介護に関する相談が増えているが、介護に係る社会資源が乏しい。 ・認知症を患っている独居高齢者の方で支援してくれる家族がない場合の通院や公共施設、金融機関への付き添い。 認知症、身寄りのないひとり暮らしの相談が増えている。
障がい (身体・知的・精神)	<ul style="list-style-type: none"> ・障害者、その介護者の居場所、活躍の場、見守り体制が不十分 ・障害全般について ・地域にある福祉事業所は他領域との交流機会が無い(当施設であれば、児童、障害等) ・親亡き後、80/50問題での相談は多い。医ケア児者の預り先がなく、親が孤軍奮闘している。 ・潜在している精神疾患への対応 ・軽度の知的障害の相談が増加。 ・ハードソフト両面でのサポートインフラの充実 ・グループホームや入所施設の不足。 ・暮らしやすい地域づくりが積極的に行われていない、当事者を含めない議論になっている。 ・障害者が高齢者になることによる制度移行の問題や、高齢者の家族が障害者で、介護が難しい等の相談が増えている。 ・高齢の親が障害者や引きこもりの子の世話をしている。精神障害のある子の受診の支援。 ・精神疾患で服薬が途絶えて生活に支障が出ている方が多い。障害者家族の高齢化。障害高齢者は情報提供を得るすべがむずかしい。 ・小さな社会(家族)の一員として、食事を一緒にする、皿洗又ト

	<p>イレの使い方が分からない等、家庭生活のマナーが身につけていない。</p>
健康・医療	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公的施策の不十分を感じる ・ ボッチャ（スポーツ） ・ 病院にひとりで行った際、通訳が設置されておらずコミュニケーションに困る。 ・ キーパーソンの不在。（通院、治療の決定。入院時の保証人等） ・ 人の免疫強化の推進、医療体制の強化（感染対策） ・ 医療と福祉との連携が弱い（医療的ケア児者のためのネットワーク形成が課題） ・ 障害を持つ人がコロナに感染した場合に、障害や家族の状況に配慮された医療を受けられるのか不安。 ・ コロナ禍で退院時に在宅に戻る為の会議等の機会が減っている。 ・ コロナ禍で外出の頻度が減り、人との交流が減ったことで、高齢者の心身機能が低下している。
就労・経済	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公的施策の不十分を感じる ・ 母子家庭の就労の問題により、貧困が連鎖してしまっている現状がある。 ・ 経済格差。低所得者は生活保護受給者よりも厳しい生活をしている。 ・ 職住近隣、地域内経済の活性化 ・ 生活保護等の支援が必要な外国人がいること。 ・ 就労支援事業所（A型、B型）の不足 ・ 経済的に困窮している高齢者及び介護者の相談が増えている。 ・ 若年性認知症により離職した人の就労支援。認知症や障害により金銭管理が難しくなっている方への支援。 ・ 障害を抱えても働ける場所が増えたら良いと思う。 ・ コロナの影響にて、失業者が増えていること。
子ども・子育て	<ul style="list-style-type: none"> ・ 限られた子しか習い事ができない ・ 気になる子供の増加 ・ 子育てをしながら、働く事、就職や定着が困難、就労の場の不足、核家族、単身家庭が多く、負担を感じている人が非常に多い。 ・ 若年の世帯で実家の支援がなく孤立している場合、他者の子育てを知らず、子育ての不安を相談できないでいる世帯があるのではないかと。 ・ 聴覚障害児の子育てについての悩みをお互い話し合える場が欲しい。 ・ 子育て環境（産み育てやすいまちづくり）の整備

	<ul style="list-style-type: none"> ・三者面談などの学校からの説明の日本語がわからない外国人の保護者がいること。 ・外国籍の家庭と子育ての支援が課題 ・学童の不足、働きたいけど子どもを預けられない人がいる。 ・通学路の毎日声掛けを行っている。 ・子どもや子育て世代が介護を担っている世帯等の相談が出てきている。 ・子育てをしながら働く人達への支援。子ども中心とした官民協働の活動をしていきたい。
青年 (自立・引きこもり)	<ul style="list-style-type: none"> ・子育てをしながら、働く事、就職や定着が困難、就労の場の不足、核家族、単身家庭が多く、負担を感じている人が非常に多い。 ・不登校の児童が増えている。 ・社会全体でのケア、サポート体制づくり ・引きこもりの青年を支える機関や居場所作り少ない ・8050 問題など、高齢者の家族が引きこもっているなどの問題を抱えているケースが増えている。 ・8050 問題を一緒に考えてくれる機関が不足している。 ・何人かの相談がくるが、その一件にかかわるためには、その家族協力と人手(スタッフの人件費)が必要。
交通環境、買い物・ 通院環境	<ul style="list-style-type: none"> ・移動販売や配達など、高齢者でも利用しやすい買い物環境が足りない。院内での介助が必要な方への支援。 ・高齢者や障害を持った人達が外出し易い(歩きやすい)町作り。 ・圏域内に商店等少ない。買い物等に関しても、介護サービスだけでは対応しきれない状況がある。 ・トコバスのアクセスで一部不便な場所がある。
防災・防犯・交通安全	<ul style="list-style-type: none"> ・最近ニュースになった犯罪があった。 ・小さい子どもたちが、交通事故に巻き込まれることの対策強化(高齢者の運転、スマホ運転など) ・防災無線で夜高齢者の迷子が多いようである。 ・町会単位の防災対策では加入率もさがっている中、厳しいのでは。高齢者の自転車の乗り方の危険性や車いすでの外出がしにくい。
ゴミ・住環境	<ul style="list-style-type: none"> ・独居高齢者のごみ捨ての問題 ・JR 高架下等のゴミの散乱(JRの自主性が問われる) ・ゴミ収集場のネット等カラス除けが十分ではなく、道路に散落していることが多い ・高齢者のごみ出しが難しいケースに対応できる地域資源が不足している。 ・ゴミ出しが難しくなっている高齢者が増えている。自宅内にゴミ

	<p>が大量に散乱している家の支援。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外国人が住まう地域だと捨て方のルールが理解できずゴミが散乱しているのを見かける。高齢者のゴミ出しも困難である。
人権・虐待・権利擁護	<ul style="list-style-type: none"> ・権利擁護への対応の仕組みが不十分 ・子どもいじめ問題（いじめられる、いじめる側双方のケアが必要） ・障害を持つ人の権利、虐待防止についての啓発をもっと行ってほしい。虐待等があった際の緊急の受け入れ先を増やしてほしい。 ・認知症や障害により金銭管理が難しくなっている人への支援。 ・子の居ない高齢者世帯に対して制度や手続き等の知識と対策を立てられる支援が必要では。 ・家族に対するきめ細かい指導が必要、本気で対応するには、現場で対応できるスタッフのスキル、それに対する対価
居場所・孤立	<ul style="list-style-type: none"> ・各支援制度や彩の国あんしんセーフティーネット事業などの周知が不足している（教育センター長も知らなかった） ・コロナ禍での交流機会、活動場所が激減 ・町会や老人会に未加入の方が集える場所（誰でも参加できる場所）が少ない ・社会全体での見守り、サポートが重要 ・高齢、障害等問わず、ふらっと立ち寄れる集いの場があると良い。 ・コロナ禍で孤立する高齢者が増えた。集いの場がどんどん再開してきているので、案内をする必要性を感じている。 ・コロナ禍で活動の場がなくなり、外出の頻度が減った。人との交流も少なくなった。 ・男性が集える場所が少ない。町会、老人会に加入せずに集える場所も必要。
地域活動・ボランティア活動	<ul style="list-style-type: none"> ・こども食堂や居場所づくりが盛んになってきたが、拠点間の連携作りが必要になってくるのではないかと。 ・コロナ禍での交流機会、活動場所が激減 ・身近なサロン等の場所がない。 ・青年層のボランティア活動参加の促進。 ・コロナ禍でイベントが開催やボランティアの受入ができない。 ・530 運動に参加者多少増えているようです。 ・地域活動やボランティア活動の仕組みはあるが、使いづらい。地域にうまく浸透していない。 ・町会活動やボランティア活動が思うようにできなくなっている ・ボランティアセンターの開始までの流れがスムーズにしてもらいたい。

	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナの影響によりボランティアの受入もできなくなった。
福祉に関する情報提供	<ul style="list-style-type: none"> ・障害者差別解消法など ・市民が地域での様々な課題を知る機会が少ないと感じる。(町会等の回覧板等には、防犯情報・学校お便り、公民館などの情報しか入っていないことが多い。)町会に加入していない人は、学校等が伝える努力をしないとまったく情報を知る機会が減ってしまうのではないか・・・?また、コミュニティに属さない高齢者や一人暮らしの若者に対しどのような方法で情報を届けるのかなどの考えなければならぬと感じる。(福祉関係機関の連携が種別を超えて必要なのかもしれない...?) ・他領域のことは殆どわからないこと。 ・市民への情報発信に偏りがある。 ・老若男女、多様性を重んじる地域福祉 ・当事者視点に立った市民向けの障害理解情報の工夫 ・必要な情報をうまく入手したり理解できない人もいる。分かりやすくきめ細やかな方法で伝える工夫をして欲しい。 ・介護保険や高齢者サービスについての情報が拡がらない。 <p>行政の中に福祉の専門家がない。(特に現場対応できない)</p>
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・上記の項目を横につなぐ連携、協働体制の充実 ・医療、保健、教育、福祉、保育等エッセンシャルワーカー間のネットワーク形成が課題。 ・支援が必要な高齢者が今後ますます増えていく中で、介護保険サービス以外の地域資源の活用が必須である。

問5 運営において困っていることや課題はありますか。

(あてはまるものすべてに)

	回答	割合
職員確保	12	18%
人材育成	15	23%
財政運営	11	17%
活動の PR	6	9%
地域(地域福祉推進組織、自治会、民生委員・児童委員協議会など)との連携	9	14%
行政や社会福祉協議会、他団体との連携	8	12%
特にない	1	2%
その他(コロナなによる活動自粛、ボランティアの確保、高齢化)	2	3%
無回答	1	2%

問6 団体の利用者、相談等に関する事例について教えてください。

(1)最近、制度上のサービスでは解決できずに困っている問題・事例がありますか。

(自由記述)

- ・特になし。部活動の外部委託については、学校と様々な検討を行っている。
- ・育児疲れの訴え、子育て中でも仕事休みとれない、子ども病気でも休み、早退が困難。選ぼうとすれば仕事を失う、育児を手伝ってくれるパートナーや親が誰も居ない。(最近では常時あり。)
- ・高齢化に伴う、人材育成面、会員が増えない。
- ・核家族化が進む中での身元保証問題。医療同意は NG である成年後見制度、看取りまで行う特養では課題になることも多い。
- ・医ケア、難病のお子さんをもつ親からの相談が連続。いずれも受け入れ先、預け先がなく、母の職場復帰の妨げなっています。母の就労、レスパイト、そして本人の居場所、社会とのつながりのために、事業所探しをしましたがなく、未だに解決していません。
- ・地域包括ケアシステムが構築されておらず、チームケア機能が不十分。
町会単位のものはあるが、地域に活動の場やインフォーマルサービスが少なく、何でも介護保険での対応となっている。"
- ・特にありません。
- ・市内在住の卒園児が登校する学校(都内)で、不登校となり、保護者が困っている。市内、相談事業所と連携をとっているものの県外であること、対象年齢が支援対象外であるため、どの制度や支援(サービス)を使ってサポートしていけば良いか困っている。
- ・高齢の親御さんと暮らす全介助、必要な障害のある方について、グループホームやショートステイを勧めるも「コロナが心配」と決断できない。
通院等に支援が必要なのに、本人の気分で通院の予定がコロコロ変わるため、ヘルパーさんを通院に利用することが難しい。
- ・コロナ禍で訪問介護の職員が減ったこともあり、特に生活援助中心の介護保険サービスでなかなか

か利用に繋がられない状況が続いている。認知症等により、金銭管理をどうしたらよいか悩んでいる。ご家族の関わりが望めない方の受診時の院内介助について悩んでいる。

- ・認知症を患っている独居の男性について、支援してくれる親族などがいないため、失業給付の手続きでハローワークに同行して支援した。近隣ではなかったため、長時間付き添いが必要だった。親族などのいない認知症高齢者の受診同行について、病院側は支援者に付き添いを要求する。また、本人も不安が強いため付き添いを強く要求してきた。毎回長時間の受診の付き添いとなり業務に支障が出てしまう。

- ・あんしんサポートねっとの利用。

- ・思春期の男の子の性教育と、家族の考え方、認識が幼い。制度上のサービスはいろいろ出てきているが、それを理解し、利用する側も利用させる側も勉強不足に思う。

- ・発達支援を全体性をもって支援していくこと。各園の努力で運営している部分や、発達の専門的なチームとの連携。

(2)(1)で書かれた問題・事例に対して、解決に向けたご提案がありましたらお書きください。(自由記述)

- ・家庭支援があり、保育所事業の一環であるとは言え、それらを十分担うだけの公定価格になっていない。人員数も増やし、専門的ケアが出来るだけの事業費や子育て世帯特に母親の働き方、子育て両立ができるように企業支援が必要だと感じる。

- ・市内団体のPRをどのように進めていくべきか。

市内団体との連携強化、活用は進めていただきたい。

- ・保育園への看護師配置(児童発達、放デイも)

- ・有償ボランティアや誰でも参加できる(町会単位ではない)サロンなど、地域のインフォーマルサービスを増やす。地域包括ケアシステムで一体的に提供されるべき、医療や介護、住まい、生活支援・介護予防がまだ上手く連携できていないように感じています。連携できる仕組み作りが必要だと思います。

- ・学校の支援コーディネーターと連絡をとり、学校での支援経過をていねいに把握する。

- ・ゴミ出しや買い物・受診介助等については、介護保険外でボランティア等のサービスの利用を考慮していきたい。あんしんサポートや成年後見制度についての利用を促進していきたい。いずれにしろ、相談支援の際に、介護保険で位置づけられるサービス以外のインフォーマルなサービスの利用を念頭に置いて支援していく必要がある。

- ・同居家族や支援してくれる親族などがいない人、認知症などで判断能力に不安のある人への病院や公共施設、金融機関などへの付き添いサービス(有料含む)

- ・受け入れ条件の明確化と共通理解

- ・発達支援訪問事業に対して、依頼があったら行くのではなく、各園の発達支援で困っていることも、悩んでいることを包括的に支援するような枠組み(チーム編成)

問7 行政や他の組織・団体と現在、連携をしているもしくは将来、連携を強めたい
 と思っていますか。また連携することでどのような効果を期待しますか。

連携意向 (いずれか一つ)	現在	将来
	1. 行っている 2. 行っていない	1. 連携を強めたい 2. 必要性を感じない 3. わからない

		回答 1	割合	回答 2	割合	回答 3	割合	無回答	割合
市役所	現在	22	88%	1	4%			2	8%
	将来	20	80%	0	0%	0	0%	5	20%
社協	現在	19	76%	4	16%			2	8%
	将来	18	72%	0	0%	3	12%	4	16%
福祉事業者	現在	18	72%	5	20%			2	8%
	将来	20	80%	0	0%	1	4%	4	16%
保育園	現在	9	36%	14	56%			2	8%
	将来	16	64%	2	8%	6	24%	1	4%
小学校	現在	13	52%	10	40%			2	8%
	将来	19	76%	1	4%	2	8%	3	12%
高校	現在	11	44%	11	44%			3	12%
	将来	17	68%	1	4%	3	12%	4	16%
町会	現在	14	56%	10	40%			1	4%
	将来	22	88%	0	0%	1	4%	2	8%
他の団体	現在	14	56%	8	32%			3	12%
	将来	19	76%	0	0%	2	8%	4	16%
企業	現在	9	36%	13	52%			3	12%
	将来	17	68%	1	4%	4	16%	3	12%

		連携意向	自由記述欄
市役所	現在		<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の拡大や他団体の調整役 ・ 出前講座 ・ 保育士不足解消のため各種確保施策を進めている。国の公定価格等の見直しを行ってほしい。 ・ オレンジカフェ、認知症ケア相談室を始めとし、今後も官民連携に努めていきたい。 ・ 委託を受けている ・ 市と協会の協定に基づき、連携を行っている。 ・ 他の児童分野の事業所（児童発達支援事業所）との連携の機会作り。
	将来		

			<ul style="list-style-type: none"> ・市の施策等における良好な連携体制。 協力して地域包括ケアシステムを構築していきたい。 協力して迅速にさまざまな相談に対応していきたい。 地域づくりについて目指すところを具体的に明確化してほしい 包括での取組み等 ・官民連携を保育所にまで落とし込んでほしい。 ・協力をして様々な相談等の対応をしていきたい。
社会福祉協議会	現在		<ul style="list-style-type: none"> ・事業の拡大や他団体の調整役
	将来		<ul style="list-style-type: none"> ・イベントの周知 PR ・社協を通して社会人ボランティアの参加がある。 ・コロナ禍で中止しているサロン活動等、時期を見て再開していきたい。 ・地域づくり ・社協のボランティアセミナーの講師など依頼に応じて、連携を行っている。 ・ボランティア育成 ・インフォーマルサービスに繋げる際の情報提供や良好な連携体制。 ・協力して地域住民や関係機関との連携を強化していきたい。 ・1 包括では対応しきれない地域づくりの協力を求めたい。 ・発達支援の側面からのアプローチ。 ・協力して地域住民や関係機関との連携を強化していきたい。
福祉事業者 (介護サービス事業者、高齢者等施設、NPO 団体等)	現在		<ul style="list-style-type: none"> ・事業の拡大や他団体の調整役
	将来		<ul style="list-style-type: none"> ・相互事業の活性化、行事の交流や日常の触れ合い交流が出来ると良い。 ・シルバー人材センター会員の方々の行事参加をいただいている。無理のない範囲で今後も継続していきたい。 ・同業（市内特養）のみ連携、継続、他領域との協働も地域包括ケアシステムには重要なのでは。 ・地域づくり ・幅広い分野の事業者と連携することができれば、地域福祉に関する新たな試みができるのではなか。 ・ライフステージを見通したきれめない支援の実現。 ・サービスの効率的な利用に資する良好な連携体制。

			<p>連携を強化することで、必要な人に迅速に介護や福祉サービスが提供できる環境を作りたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者等施設との関わりや地域のレガシーを活用していきたい。 ・連携を強化することで、必要な人に迅速に介護や福祉サービスが提供できる環境を作りたい。
保育園・幼稚園	現在		<ul style="list-style-type: none"> ・事業の拡大や他団体の調整役 ・保育の質向上、運営の改善。 ・数年前は他園と交流していたが、感染症の問題で途絶えている。 ・コロナ禍により中止、時期を見て再開したい。 ・市の保育幼稚園課から文書の翻訳依頼あり。 <p>巡回相談、保育所等訪問支援の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認知症サポーター養成講座等の開催 ・世代間交流。高齢者と関わる機会を設けて欲しい。 ・公開保育などを通じて、保育の質を高めていく。
	将来		
小・中学校	現在		<ul style="list-style-type: none"> ・事業の拡大や他団体の調整役 ・形式問わず、日常的に児童と園児が交流できると良い。児童の円滑な就学に繋がる。 ・小学校との交流や連携が少ない。年間を通じて交流機会をふやしていければと考える。 ・中学校 3 days（現在中止） ・小学生に認知症サポーター養成講座を行いたい。 ・学校及び市教委の学務課から、生徒及び保護者への通訳の依頼あり。 ・就学支援の充実、保育所等訪問支援の充実 ・認知症サポーター養成講座等の開催 ・地域包括支援センターを周知していきたい。認知症サポーター養成講座の開催 ・世代間交流。高齢者と関わる機会を設けて欲しい。 ・小学校接続をより密にしていきたい。
	将来		
高校・大学・専門学校等	現在		<ul style="list-style-type: none"> ・事業の拡大や他団体の調整役 ・形式問わず、日常的に児童と園児が交流できると良い。児童の円滑な就学に繋がる。 ・少子化、核家族化で乳幼児とのかかわりが少ない。保育園で乳幼児と一緒に遊ぶ機会を創設できればと思う。 ・高校：戸田翔陽高校福祉課との絵手紙交流。大学、
	将来		

			<p>専門：実習（現在中止）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内の高校から、生徒及び保護者への通訳の依頼あり。 ・就学支援 ・認知症サポーター養成講座等の開催 <p>地域包括支援センターを周知していきたい。認知症サポーター養成講座の開催</p> <p>世代間交流。高齢者と関わる機会を設けて欲しい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実習生だけでなく、高校生なども保育の仕事にふれられるような仕組み。
町会・自治会	現在		<ul style="list-style-type: none"> ・事業の拡大や他団体の調整役
	将来		<ul style="list-style-type: none"> ・形式問わず、日常的に児童と園児が交流できると良い。児童の円滑な就学に繋がる。 ・ゆうわ祭り（1回/年）のご招待（現在中止） ・地域づくり ・認知症の方の個別ケア会議等に地域の方も参加してほしい。 ・多言語版町会、自治会加入促進リーフレットの翻訳依頼など ・支援場所としての認知 ・地域の高齢者の見守り、相談等を含めた顔の見える関係の構築と信頼関係の構築。 ・地域ケア会議へ積極的に参加して、地域の課題を一緒に考えていきたい。 ・地域で必要な資源を一緒に考えて協力してほしい。 ・町会合同でのイベントや避難訓練など子ども達をより地域に繋げていきたい。
他のボランティア団体	現在		<ul style="list-style-type: none"> ・事業の拡大や他団体の調整役
	将来		<ul style="list-style-type: none"> ・形式問わず、日常的に児童と園児が交流できると良い。児童の円滑な就学に繋がる。 ・読み聞かせのグループによる絵本等の読み聞かせをしていただいた。感染症が収束したら再開することになっている。 ・サロン活動、傾聴、他利用者余暇活動 ・地域づくり ・サロン等の担い手になってほしい。 ・児童発達支援センターの理解と協力 ・インフォーマルサービスに繋げる際の情報提供や連

			携。 ・介護保険では対応できない支援を依頼できるようにしたい。 ・支援する人、される人の垣根が少なくなるように互助共助の推進を希望。
企業	現在		<ul style="list-style-type: none"> ・事業の拡大や他団体の調整役 ・行事、スポーツ面で参加をいただいている。地域、団体等との交流機会を増やしたい。 ・特に無し ・認知症施策など、啓発や対応など一緒に取り組みたい。 ・外国人従業員の当協会日本語教室への参加 ・児童発達支援センターの理解と協力（イオンのレシートキャンペーン登録） ・協力して行えることの模索 ・地域包括支援センターの周知、認知症サポーター養成講座を開催していきたい。 ・新しいアイデアや発想で地域づくりを協力してほしい。 ・企業のノウハウをぜひ子ども達に伝えて欲しい。（料理、プログラミング、製本、様々な技術など。）
	将来		

問8 行政や他の組織・団体と連携を強めていく上で、支障となりそうなことはありますか。（あてはまるものすべてに ）

	回答	割合
メンバー・スタッフの協力が得られるか	9	23%
連携したい団体等があるか	3	8%
アプローチ方法がわからない	7	18%
どのような連携ができるか	11	28%
漠然と不安がある	2	5%
特にない	4	10%
その他（対価、お互いの業務負担が増える心配あり、通訳翻訳ボランティアなどの協力、個人情報の公開の問題）	3	8%
無回答	1	3%

問9 地域や生活の困りごとについて、耳にすることはどのようなことですか。(あてはまるものすべてに)

	回答	割合
こども、子育てに関すること	12	12%
障がいに関すること(身体・知的・精神等)	14	14%
高齢、介護に関すること(認知症・見守り等)	13	13%
人権、家庭内暴力に関すること	10	10%
健康、医療に関すること	14	14%
就労、経済的な事項に関すること	13	13%
防災、防犯、交通安全に関すること	8	8%
福祉に関する情報提供に関すること	13	13%
その他(具体的に:)	0	0%
無回答	0	0%

問10 日常生活の中で起こる問題に対して、どのような方法で解決するのが良いと思いますか。(1つに)

	回答	割合
自分たちの生活に関わることだから、できるだけ住民同士で協力して解決したい	0	0%
地域のことに熱心な人達が考えてくれるので、その人達に任せておきたい	0	0%
住民と行政の協働で解決したい	22	85%
行政に解決してもらえるように要求したい	1	4%
その他(問題の内容によるので一概に1~4を選ぶことは困難です。住民・行政のみならず、企業やNPO法人など社会全体で解決したい)	2	8%
無回答	1	4%

問11 いわゆる「8050 問題」など、一つの相談支援機関だけでは解決できない人や制度の狭間にある人を支援につなげるためには、どのような仕組みづくりが必要だと思いますか（○は3つまで）

8050 問題とは、高齢の親が長期間ひきこもる子どもと一緒に暮らし（80 歳代の親と 50 歳代の子の親）生活面、経済面を含め支援している状態のこと。家族や本人の病気、社会的孤立等、複数の課題が背景にあると言われていています。

	回答	割合
地域コミュニティの育成と支援	9	13%
どのような相談もまるごと受け止める体制の整備	14	20%
支援を必要としている人の早期把握	16	23%
福祉に関する相談窓口の周知	2	3%
相談支援機関と地域住民、地域の関係者（民生委員や児童委員等）との連携	14	20%
多様な活動団体、ボランティア等が協働で支援する仕組み	10	14%
相談支援機関や地域福祉活動の担い手を対象とした研修会の開催	3	4%
その他（ ）	1	1%
無回答	0	0%

問12 お住いの地域で、日常生活を送るうえで心配な方や、困っている方がいたら、貴団体としてできることは何ですか。（あてはまるものすべてに ）

	回答	割合
見守りや声かけ	16	35%
話し相手	5	11%
日常生活上の手伝い（電球の交換、買い物、ゴミ出し、通院等）	2	4%
草取りや庭の掃除	2	4%
食事作りやおすそわけ	0	0%
学校や保育園、通所施設の送り迎え	0	0%
短時間の子どもの預かり	3	7%
災害など緊急時の手助け（安否確認、避難所への誘導など）	8	17%
その他（制度紹介や相談、相談・サービスや関係機関の紹介、必要な支援につなぐ、住環境の改善・向上の相談、周知が必要な情報の翻訳など、相談及び適切な支援につなぐお手伝い、必要なサービスの調整、相談支援、病院受診等の送迎）	9	20%
特にない（ ）	1	2%
無回答	0	0%

問13 子どもからお年寄りまで、誰もが住みやすいまちづくりを推進していくにあたり、行政や社会福祉協議会ではどのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。(〇は3つまで)

	回答	割合
福祉に対する意識の向上	5	7%
情報発信の工夫	4	5%
地域福祉活動の担い手の確保	9	12%
顔の見える関係づくり	8	11%
地域福祉活動の支援	6	8%
地域の様々な活動主体のネットワークづくり	10	13%
困りごとを抱えた人が適切な支援につながる体制づくり	15	20%
誰もが安心できる環境の充実	3	4%
地域の防災力の強化	2	3%
権利擁護の推進	2	3%
地域生活課題の複合化・複雑化への対応	3	4%
社会的孤立、制度の狭間の問題への対応	9	12%
無回答	0	0%

問14 地域福祉を進める上で、次の団体などに貴団体が協力できそうなことがありますら、活動の種類をア～カより選び、具体的な内容をご記入ください。
(書ける欄のみに記載していただければ結構です)

「種類」欄は下記のア～カより選んでください。

ア．福祉サービスに関すること

エ．人材育成

イ．市民の活動支援

オ．防災

ウ．ネットワークづくり

カ．その他

		回答ア	回答イ	回答ウ	回答エ	回答オ	回答カ	無回答
市役所	協力	8	2	3	0	2	2	14
	協力割合	26%	6%	10%	0%	6%	6%	45%
	ハードル	2	0	1	2	1	2	23
	ハードル割合	6%	0%	3%	6%	3%	6%	74%
社協	協力	7	1	7	0	1	4	11
	協力割合	23%	3%	23%	0%	3%	13%	35%
	ハードル	2	0	1	3	0	4	21
	ハードル割合	6%	0%	3%	10%	0%	13%	68%
福祉事業者	協力	7	1	4	1	1	4	13
	協力割合	23%	3%	13%	3%	3%	13%	42%
	ハードル	1	0	3	3	0	3	21
	ハードル割合	3%	0%	10%	10%	0%	10%	68%
ボラ団体	協力	5	4	4	0	1	5	12
	協力割合	16%	13%	13%	0%	3%	16%	39%
	ハードル	1	1	3	3	0	3	20
	ハードル割合	3%	3%	10%	10%	0%	10%	65%
企業	協力	5	1	4	0	1	6	14
	協力割合	16%	3%	13%	0%	3%	19%	45%
	ハードル	2	0	1	2	0	3	23
	ハードル割合	6%	0%	3%	6%	0%	10%	74%
地域住民	協力	6	4	4	0	2	4	11
	協力割合	19%	13%	13%	0%	6%	13%	35%
	ハードル	1	1	1	2	0	4	22
	ハードル割合	3%	3%	3%	6%	0%	13%	71%

	項目（複数回答）	種類	具体的な内容
市役所	協力できそうなこと		イベントの実施、小中学校への派遣など、委託事業関係、聴覚障害者についての講演や話し、連携して事業を進める、ミニ防災倉庫の設置管理、誰もが歩きやすい街づくり、支援対象（就学前児童中心）の拡大の検討、ニーズに対応するサービスの提供、施策の実行に係る連携等、元気体操その他の活動の支援。地域ケア会議の開催や各種関係機関との会議の開催、出席。介護・障害福祉サービスでの相談や受入を行う。
	実現に向けてハードルになること		対価 現状なし 人材不足 予算確保（活動費の継続費用）の問題 教育との連携 現場の実態をあまりにも知らなすぎる。
社会福祉協議会	協力できそうなこと		イベントの実施 小中学校への派遣など 社会人ボランティア希望者の受入 地域支援 聴覚障害者についての講演や話し 障害福祉サービス等、生涯に関わる勉強会 連携して事業を進める。 福祉等に関する情報の多言語への翻訳。・通訳が必要な外国人福祉サービスへの通訳の派遣。 ボランティアの育成 ボランティア等の社会資源の利用に係る調整等の連携 圏域内の町会などとのネットワーク構築への協力 こころの健康サロン。ピアカウンセリン

		<p>グ。健康体操。カフェ授産品販売。カウンセリング</p> <p>圏域内の町会や事業所等のネットワーク構築への協力。</p>
	実現に向けてハードルになること	<p>対価、人材不足</p> <p>まず組織、民生委員、ボランティア団体との顔合わせからだと思う。</p> <p>通訳ボランティアまたは職員が通訳、派遣依頼時に都合がつくか。・医療など専門的な分野の通訳は難しい。</p> <p>新型コロナの影響で施設体験が困難なこと</p> <p>社会資源の利用に繋げていく情報の共有化</p> <p>スタッフの確保</p>
福祉関係事業者	協力できそうなこと	<p>イベントの実施</p> <p>小中学校への派遣など</p> <p>ひとり親家庭支援・愛の国あんしんセーフティ事業・子どもの貧困対策・学習支援他</p> <p>認知症サポーター養成等、各種市民活動支援講座、事業所と市民のネットワーキング及び活動支援</p> <p>聴覚障害者についての講演や話し</p> <p>事業所の枠をこえた、研修会等の実施、事業所、従事者の交流を図る。</p> <p>研修の協働開催</p> <p>様々な情報の共有や相談および支援</p> <p>介護保険情報などの情報発信や啓発活動</p> <p>複数事業所での子育てに関するイベント</p>
	実現に向けてハードルになること	<p>対価</p> <p>感染流行。(= 対策要検討)</p> <p>人材不足</p> <p>皆さん多忙で参加希望が出来るのかどうか</p> <p>児童発達支援事業所とのネットワーク</p>

			づくり ネットワーク構築と予算
ボランティア団体	協力できそうなこと		<p>イベントの実施 どちらかという受入協力 学習支援・寄付・イベントへの協力他 聴覚障害者についての講演や話し 障害理解、障害者の関わりなどについて ボランティアさんへの不安や疑問に答える。 サロンなどの企画を一緒に進めたい。 活動場所としての協力 ボランティアの利用に係る連携の強化 サロン活動など市民とのマッチングへの協力。 地域で活動したい方たちへの声かけや ボランティア団体の紹介 ボランティアの受入 ボランティア団体の受入をし利用者及び地域の方との交流の場を作る。</p>
	実現に向けてハードルになること		<p>対価 人材不足 ボランティアさんとのつながりがない ので、顔合わせなどから。 新型コロナの影響で施設体験に制約がある ボランティア団体と直接連携を取ることが出来るネットワークがない。 地域エリア内で担当になるため、エリアを越えての声かけができない。 新しい人材の育成が少ない、ボランティアをする人の数が少ない。</p>
事業者 地域の一般企業・	協力できそうなこと		<p>イベントの実施 企業の地域の貢献活動への受入協力 貧困対策や寄付関係 聴覚障害者についての講演や話し 認知症サポーター養成講座や相談先として活用してほしい。イベント等の協力 イベントの開催等の協力。</p>

		<p>認知症サポーター養成講座や出前講座などの開催、啓発活動</p> <p>授産製品の販売</p> <p>コラボすることで企業の認知度やブランディングに力を貸せるのでは？</p> <p>病院受診や買い物等の送迎を行う。(福祉有償運送)</p>
	実現に向けてハードルになること	<p>対価</p> <p>当法人の存在、活動等の周知</p> <p>人材不足</p> <p>コンビニやドラッグストア等にも協力依頼などをすることがあるが、窓口が分からずスムーズに進まない。</p> <p>公共性の確保</p> <p>内容をどうするか？ネットワーク構築の難しさ。</p>
地域住民	協力できそうなこと	<p>イベントの実施</p> <p>災害時一時避難所</p> <p>行事や防災訓練などでの交流</p> <p>聴覚障害者についての講演や話し</p> <p>障害福祉サービス等、障害に関わる制度の講座。</p> <p>住環境に関わる困りごとの相談、アドバイス</p> <p>行事やイベントでの交流</p> <p>住民主体の活動の支援</p> <p>介護保険など公的サービスに関する説明、啓発。元気体操やサロン活動への支援</p>
	実現に向けてハードルになること	<p>対価</p> <p>人手、物質、環境の未充足</p> <p>感染症の流行時には、交流が困難</p> <p>人材不足</p> <p>まずは基幹相談との周知からだと思う。</p> <p>相談窓口の設置</p>

問15 地域福祉推進についてご意見・ご要望等、ご自由にお書きください。

- ・アンケートを web にして欲しい。
- ・各々組織、団体が地域の中で、地域社会の担い手として大変な役割を果たしているところ。公的責任が薄くなってきている。人材不足、財政不足、多様なニーズに答え、処遇低下など、各団体は自分の組織運営だけでめいっぱい現状なのではないか。その中でも必要である連携、協働を図っているつもりであり、もう少し行政等が連携や共生の土台づくりとして、財政や組織固めをパイプ役となるものの構築が必要と感じる。財政措置や支援のないまま、連携や共生の強制や義務付けだけはやめてほしい。
- ・複数団体との連携により、市民等を対象とした研修や学習会の実施。
- ・地域とのつながりが希薄になっています。地域に暮らす人々と地域の社会的施設との無理のない出会い、ふれあい及び交流の創出が大切かと考えます。感染症への心配もありますが、人と人とのつながりが地域にセーフティネットとして生きている大切さを感じております。
- ・児童福祉施設を運営し、ひとり親・子育て及び学習支援を通し、経済的困窮世帯に対し、サービス提供を行い生活の向上を目指します。
- ・日頃から大変お世話になっております。10月1日～基幹相談センター開所後、飯田CSWからたくさんのご意見を学ばせて頂き、地域課題を認識しているところです。一緒に取り組んでいきたい、これからもよろしくお願い致します。
- ・地域福祉に関わる人たちを増やすこと、多様な主体のネットワークづくり、これまでにない観点からの地域福祉の推進も必要のように感じられます。
- ・障害児・者に対する正しい理解、及び、支援施設の事業内容の認知など昔と比較すると前進しているものの、まだ不十分であると思う。当事者、及び当事者を抱える家族、支援施設が積極的に地域活動に参加する機会、地域住民との交流、当事者なりの表現(文化)活動の場が少しずつ増えて行くと良いと思う。
- ・多様な機関が顔の見える関係性で連携ができるよう、社協さんがそのパイプ役を担っていただけるととても良いと思います。
- ・高齢者人口の増加等、様々な要因により、介護保険サービスに基づいた既存のサービスでは地域を支えることは難しくなっている。また、アンケートの中にもあったように「8050問題」など、多数の問題を総合的に支援していく必要性が出てきている。地域福祉を推進していくには、住民や民間企業等の地域資源をうまく活用していく仕組みを構築し、様々な問題に対応していく必要性を強く感じている。生活支援コーディネーターが、各地域包括支援センターの圏域ごとについて下されば、地域福祉の推進がより一層できると思います。
- ・コロナ禍により地域における助け合いや支え合い、地域活動がおこないづらくなってしまっている。すぐに今の状況が変わるわけではないと思うので、実情に併せて、安心して協力ができる体制を考えながら地域福祉活動を広げて欲しい。
- ・地域ケア会議で出ている困りごとの解決がすすまない。
- ・各包括から地域ケア会議の課題を毎回あげているも行政内で検討されていないと感じる。

ご回答ありがとうございました。